

## 会議顛末書（議事録）

件名	令和7年度第3回中野市地域クラブ活動推進協議会
日時	令和8年3月25日（水） 18:30～19:53
会場	中野市役所 会議室 52・53
出席者	<p>（委員） 唐木敏行（会長）、中山重光（副会長）、酒井雄高、大宮真実、阿藤博之、中村幹夫、廣江雅洋、石川保文、小林光典、宮澤 務、角田 晃、田近佳代子、西澤美栄子 （計13名、敬称略）</p> <p>（オブザーバー） 長野県教育委員会 吉田勝光、越田真二、 長野県スポーツ協会 山崎吉治 （敬称略） （中野市） 秋元くらしと文化部長、丸山教育次長、荒井文化スポーツ振興課長、小橋学校教育課長、高木文化振興係長、阿藤主任、戸島学校教育係長、高木副主幹、和田指導主事 （計9名）</p>
資料	資料2～資料5のとおり （資料1は第2回協議会の顛末書のため省略）
主な内容	
<p>進行；学校教育課長</p> <p>1 開会のことば（秋元部長） 18:30</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オブザーバーの方々の紹介含む。</li> </ul> <p>2 あいさつ （唐木会長）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本校（高社中学校）では、地域クラブに参加する生徒が増えている。中野市外のスポーツクラブへ参加し活躍する生徒も出てきている。また、いち早くクラブ化したスキーでは、今年度5名の生徒が全国大会へ出場した。</li> <li>・今までに地域移行したクラブの活動をモデルとして、部活動の地域展開を進めていきたい。子どもも親も本気になっていただくことが、地域展開を進めるためには必要かと思う。</li> </ul> <p>3 協議 （座長は会長） 18:32～19:50</p> <p>（1）令和8年度の中学校部活動及び今後の地域展開の見通しについて （事務局）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○資料2【令和9(2027)年度中野市の地域クラブ活動について】をもとに説明 <ul style="list-style-type: none"> <li>・各中学校にて先生方に検討いただき、昨年末に作成した。1月から2月にかけて、この春中学校へ進学する生徒の保護者説明会にて、配布・説明した。中学校の生徒については、部活動の顧問から説明いただいた。</li> </ul> </li> </ul> <p>（2）国や県の動向について （事務局）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○資料3【部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドラインの概要 他】をもとに説明 <ul style="list-style-type: none"> <li>・12月に「部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドラインの概要」が新たに示された。ページの上段下線部のとおり、部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関して、国としての考え方が示された。</li> </ul> </li> </ul>	

- ・改革の理念として、将来にわたって・・・、すべての生徒が希望に応じて多種多様な・・・、部活動が担ってきた教育的意義を敬称・発展させ、・・・新たな価値を創出となっている。
- ・改革期間は令和13年度までとし、前期、後期に分けて、改革を推進。
- ・中野市では、令和8年度で地域展開を完了する予定。スケジュール上の問題はない。
- ・新たに提案された「地域クラブの認定制度」について、詳細を確認ください。認定スキーム、認定要件、メリットがまとめられている。(簡単に説明)
- ・このガイドラインに基づき、令和8年度から推進事業が実施される。事業内容の(3)中学校における部活動指導員の配置支援は、中野市として継続で実施予定。これ以外の補助・委託事業については8年度の計画はない。

○オブザーバーの方より補足説明

- ・認定制度について、県内市町村での取り組みが始まっている。先行する市の情報をいただきながら進めてほしい。
- ・クラブ化では近隣地町村との連携が必要となるので、情報共有しあってほしい。
- ・県としては、「長野県地域スポーツ・文化芸術活動推進連絡協議会」を定期的に開催し、認定制度についても協議しているので、ホームページで確認してほしい。

(3) 地域クラブ活動推進にあたっての課題および方向 (事務局)

○資料4【地域クラブ活動推進にあたっての課題および方向】をもとに説明

- ・1の確認事項については、今まで検討いただいた方向で進んでいる。(アンダーラインの部分を中心に説明)
- ・2の課題や意見に対しての方向については、それぞれ矢印の方向で進んでいる。①吹奏楽・合唱の指導者やクラブの設立については、本日後半のグループ討議で意見交換してほしい。④の「(仮称) 校内クラブ」の名称については、「校内地域クラブ」にしたい。運営体制や事務等については、各学校からの意見も伺いながら検討していきたい。グループ討議で意見交換してほしい。
- ・3は先ほど説明したとおり。中野市の対応について、グループ討議で意見交換してほしい。

○以上の説明についての質疑は特になし。

○以下の3グループに分かれ意見交換したあと、各3分程度で発表。

A ; 地域のスポーツ関係、 B ; 吹奏楽・合唱関係、 C ; 保護者・学校関係

○意見交換の内容 ((県) はオブザーバーの方の助言)

A ; 地域のスポーツ関係

①地域クラブの認定制度

- ・国の補助金は、3年あるいは6年で終了してしまう。あてにしたの継続は難しい。
- ・地域の指導者としてボランティアで関わっている方が多い。いつまでもボランティアでは限界がある。少しでも補助金があれば助かる。
- ・認定要件を見ると、活動時間や休日の休養日設定等、地域クラブ化したときに厳しい内容となっている。
- ・平日の活動が2時間程度というのは厳しい。

- ・指導者がなかなか見つからない状況があるし、大会等では引率できる方も必要。
- ・個人のスポーツ保険への加入はできるが、損害賠償までの保険加入は難しい。
- ・若い指導者の中には、バイトの時給と比較して選択する方もいる。補助については、あと数年は残ると思われる。(県)
- ・認定要件については、県として検討をしている。休日2日間の活動もダメではない方向である。(県)
- ・中野市ではスポーツ少年団へ加入している団体が多い。スポーツ少年団への加入団体は認定するという方向ではダメなのか。認定を受けるために別の事務手続きを行う必要が出てくると難しくなる。

## B：吹奏楽・合唱関係

### ①吹奏楽の活動場所、合同での練習について

- ・2月に中央公民館の3階講堂にて合同練習を実施した。3校の1・2年生70名中、61名が参加した。音漏れもほとんど気にならず、よい練習会になった。
- ・駐車場も広いので、送迎もしやすい。週末の午前中の練習には最適。
- ・平日の合同練習は、集合するのが難しいので各学校単位での活動をお願いしたい。
- ・須坂市では、平日は部活動で行い、休日に合同練習会として始めた様子。

### ②吹奏楽の団体組織、地域指導者、活動目標等

- ・事務局をどうするかが問題。目標として、当面は「コンクールへ出場」という方向がよい。今、加入している生徒の多くは「コンクール」を目標にしている。
- ・中野市吹奏楽団のメンバーで指導ができる方は少ないが、吹奏楽の先輩として練習に参加できる方はいると思う。指導される方と打合せができれば、アドバイスをを行うことは可能。実際に、他地区で中学生の指導をしている方もいる。
- ・山ノ内中学校の生徒も中野市のクラブへ加入したい気持ちがありそう。中野市が動き出せば広がっていくだろう。
- ・指導者一人では運営ができないので、次年度は各学校の顧問が関わりながら、秋以降定期的に合同練習を行っていくようにしたい。秋までに、R9年度の具体的な活動の見通しを立てたい。
- ・須坂市では、金曜日の夕方に公民館へ楽器を運び、土日に練習をしている。楽器の運搬は地域移行の事務局が行っているが負担が大きい。週末の学校での練習は、カギの管理もあり先生の協力が必要。(県)
- ・楽器について、パーカッションは公民館におかせてもらいたい。
- ・認定制度として、音楽団体連盟への加盟というのは難しい。加盟すれば、役職もまわってくる。文化部については、教育委員会か文化振興課で取りまとめるのがよい。

### ③合唱の地域展開について

- ・中学校や中野市という大きな組織で合唱団体をつくっていくのは大変なので、まずは区の単位でサークルのような活動を考えている。区の公会堂を使って、多年代の方が楽しむことから始めたいと思っている。
- ・小学校の合唱団がしっかり活動している。小から中へつなげるためにも、小学校の合唱団の先生(指導者)の意見も伺いたい。

C：保護者・学校関係

①【仮称】校内クラブ活動の名称、方向、課題について

- ・地域クラブと分かるために、名称は「校内地域クラブ」でよい。
- ・高社中では、校内地域クラブとして「美術」が該当する。令和9年度は、教員が地域指導者として放課後週2回の実施を考えている。今後、保護者への協力・見守りの依頼、参加予定の生徒数の把握、会費等決めていく。

②学校、保護者からの意見

- ・4月当初の1年生への説明に悩んでいる。現在、明確になっていることが少ない中、保護者の送迎、当番制、会費等の説明ができない。南宮中では、年度途中で部活動から地域クラブへ移行するので特に不安が大きい。
- ・他の中学校で活動する生徒もいる。自転車での参加（通学）についても検討している。
- ・新入生保護者説明会で、中学校から丁寧に説明いただいた。保護者は、地域へ移行することはわかったが、具体的にどう変わるかは見えていないように思う。部活加入後、ミーティング等行いながら、保護者も参加する形でクラブ化していく必要がある。
- ・指導者への謝礼、身分保障等について、どう確立するか。
- ・保護者負担の軽減について、行政からの補助があるとよい。
- ・文化部の校内地域クラブへ、他校の生徒も加入できるかどうか。

○オブザーバーの方より

- ・合唱の地域化は、長野県内では進んでいない状況。中野市として盛り上げていただきたい。
- ・スキー部をイメージしていただくと、コーチ・指導者と保護者が協力し合って活動の充実、大会参加等進めていることがわかる。保護者の協力は受益者負担として不可欠。
- ・今ある部活動に縛られず、新たなクラブをつくることも大事。放課後の居場所としてクラブを立ち上げ、認めていくことができるとよい。
- ・文化芸術の課題として、会場、運営主体、認定等があげられている。R8年度は、文化芸術の地域展開を促進していくことになる。5月に北信地区の担当者会を予定している。

(4) 令和8年度の協議会予定について (事務局)

○資料5【令和8年度中野市地域クラブ活動推進協議会の推進予定(案)】をもとに説明

- ・令和8年度は、1回目を8月頃、2回目を2月頃に開催する予定。
- ・認定制度の研究と支援のあり方の検討を目標としたい。

◎意見

- ・開催日程を早めに決めていただき、案内してほしい。
- ・9年度のクラブ活動について、来年度の小学校6年生へ丁寧に説明してほしい。

4 諸連絡 なし 19:51

5 閉会のことば (丸山教育次長)

- ・協議会への参加や意見交換のお礼。
- ・委員の皆様には、今後とも学校や地域の文化・スポーツ活動の充実・発展にお力添えいただきたい。

19:53 終了